



第368号
2024年3月19日

愛教労NEWS

愛知県教職員労働組合協議会

教育委員会の「金品受領」愛知県の調査は杜撰！

20時間以内に過去15年間の金品受領の有無を調べて報告

資料1

5 教 職 労 非
令和4年2月12日

名古屋市教育委員会 宛

愛知県教育委員会教職員課 宛

名古屋市教育委員会における各団体等からの金品授受確認を受けての調査について（依頼）

2024年2月11日（水）及び12日（木・祝）の新聞報道において、名古屋市教育委員会が授受確認名簿とともに金品を受け取るという事実が掲載されました。

このことについて、愛知県内町村教育委員会において同様のことがないか調査に御協力しますのでご協力をお願いします。ヒアリング等により、可能な限りさかのぼって（少なくとも15年）調査をお願いします。

詳細の質問に回答の上、2月14日（水）の締切までに御回答ください。

担当 橋本 義典 小中学校人権グループ
電話 052-242-4474

2月初旬、名古屋市教委の管理職推薦名簿・金品受領問題をマスメディアが大々的に報じ、教育関係者に衝撃をもたらしました。これを受けて名古屋市河村たかし市長は検証チームを立ち上げ、徹底的な実態解明のための調査が進められています。

この異常事態を重くみた愛知県大村秀章知事は、2月13日付けで各教育事務所を通じて県内全ての教育委員会に、同様の事実の有無を調査する通知を発しました。2日後の15日大村知事は記者会見で「名古屋市を除く県内53市町村教委に同様の行為の有無を問い合わせた結果、いずれも『金品の授受はなかった』との報告だった」と述べています。

しかし、根拠となった調査方法を見ると、2月13日に発せられた依頼〔資料1〕は「少なくとも過去15年」にさかのぼって「ヒアリング等により」確認するように求めています。そして結果を翌14日の朝9

時までに回答・報告するとしているのです。各市町村教委は調査依頼を受け取ってから夜を徹して20時間以内に、過去15年間の人事担当者全てにヒアリングを行い、報告したことになります。

また、その回答・報告〔資料2〕は、全文たったの68文字で受領の有無、過去何年までさかのぼったかのみを問うものでした。

調査期間・時間も絶対的に不十分で、報告内容も極めて杜撰です。大村知事の「愛知県では金品受領の事実は確認されなかった」という表明は、県内の自治体から集まったこのような53枚の用紙に「無」とされていたことのみを根拠に行われたということです。

市町村によっては広域人事が行われており、教育事務協議会が人事異動事務を担っているところがあります。今回の調査では教育事務協議会は調査対象になっていませんが、過去には、教育事務所の指導課長や管理主事などが、大学同窓会などの任意団体に招かれて「学習会講師」という名目で酒食の饗応や無償送迎、金品受領を行っていた場面を見たという証言もあります。

学閥といわれる同窓会や任意団体は名古屋市だけではなく、愛知県各地にも存在します。名古屋だけの問題として矮小化するのは早計と言わざるを得ないでしょう。県知事は再度、「検証」と言える精度をもって調査を行うべきです。

資料2

() 教育委員会

1 教育団体等より、金品を受け取っていません。 有 無
(金品一両金、貴重品等)

2 上記について、過去何年まで確認できましたか。

事務所住所：〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-26

大須土方ドリームマンション 801

TEL：052-242-4474

FAX：052-242-2938

Mail：aichi@aikyourou.jp

URL：http://www.aikyourou.jp/

HPはこちら



戦争反対！ 暴力反対！

#NO WAR

#STOP GENOCIDE

